

<知らない後悔！事前に知っておくべき学校見学の準備>



最近、『学校見学』の案内がたくさん配られているな。何をしたらいいのか分からないし、そもそも行かなくても学校は決められるよなあ…

何を言っとるんや！そんな後ろ向きな考え方は良くないで！『分からへんからやらん』と『分かった上でやらん』は全く違うから、今回の進路通信を読んでから決めて^^



教育相談を終え、自分の卒業後の進路について真剣に考え始めた人が増えてきていることと思います。日々、たくさんの学校見学の案内が届いていますが、実際に学校見学に行った人はまだまだ少数だと思います。そこで今回は、**知らない後悔！事前に知っておくべき学校見学の準備**について取り上げます。

下記に当てはまる人はぜひ最後まで読んでみてください^^

こんな人に読んで欲しい！

- これから学校見学に行こうと思っている人
- 実際に行ってみただけで、どういう視点で見たらいいかをもっと知りたい人
- 学校見学に対して消極的に考えている人

いつもと違う場所、異なる人と会うことは人生を変えるきっかけになるで！ちなみに、昨年度の卒業生の『約90%の人』が『1回以上』学校見学に行ってるで^^



目次

- ① 学校説明会の種類
- ② 学校見学に行くメリット
- ③ 参加までに押さえておきたいポイント
- ④ 当日の見学で確認すべきポイント

① 学校説明会の種類



説明会

学校の教育方針やカリキュラム、進路実績、学校生活の様子などを、校長先生をはじめ各担当の先生たちが説明してくれます。学校独自で作成した動画で紹介を行う学校も増えてきています。



授業公開

普通の学校の授業をそのまま見学できます。いわゆる『中学生や保護者による授業参観』です。授業を受けている在校生たちの態度・姿を見ることができます。1年後の自分の姿をイメージしやすいです。



授業体験・部活動体験

実際に、授業を体験したり部活動に参加したりできます。いわゆる『1日体験入学』です。在校生や先生と直接交流することができるので、学校の雰囲気を肌で体験できます。



合同説明会

複数の学校が1つの大きな会場に集まって行う説明会です。短時間で多くの学校の情報を得ることができます。「具体的な志望校が決まっていない」という場合には、おすすめです。

② 学校見学に行くメリット

●学校の雰囲気を肌で感じられる

例えば、「授業風景」や「休み時間の様子」、「体育館などの施設の利用状況」などの雰囲気を感じられます。パンフレットやHPはあくまでも情報の一部です。**実際に学校に入ること**で**感覚を味わうことができます。「生の情報」ほど良いものではありません。**

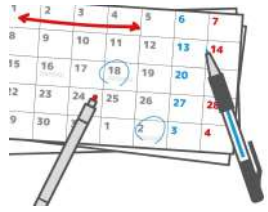
●受験へのモチベーションに繋がる

まだまだ受験生という実感を持っていない人も少なくないでしょう。**入試説明会に参加すると、自分が受験生である実感が一気に湧いてきます。**周囲には同じ受験生が大勢おり、そこで気持ちが切り替わる人もいます。

●受験のポイントを教えてもらえる

多くの学校で、**入試説明会は入試を担当する先生により実施されます。「試験に出やすいポイント」などに触れることもあります。**入試の概要を知るだけならHPに昨年度の要項などが掲載されていることが多いので解決します。しかし、受験のポイントを知りたいという人は入試説明会に参加するべきです。

③ 参加までに押さえておきたいポイント



日程

見学のスケジュール管理をしましょう。なぜなら、同じ日程で開催されることが多々あり、参加日が重なるといけなくなるからです。また、事前予約が必要な学校が多数です。参加人数に上限を設けている場合もあります。参加しようとしたら申し込みの締め切り期間を過ぎていたという残念なことになってしまうようスケジュールを管理しましょう。

学校に届いている学校見学のお知らせは全てGoogleクラスルームへ『学校名【実施日程】』をタイトルにして配信しています。ぜひ、確認しましょう。



奥田篤志 さんが新しい資料を投稿しました: 四條畷 【6/10】
5月19日

持ち物や服装

学校から指定されたものがあれば、優先して準備しましょう。その他としては、

- ①かばん →見学会では、資料等が配布されます。また、体験授業を受けた際にプリントが配られることもあります。普段中学校で使っているものでかまいません。
- ②メモ帳やノート →気になったことをメモするために便利です。複数の学校を見学する場合に見比べやすいです。また、事前に質問したいことをメモに書き込んでおけば、質問しやすいです。
- ③筆記用具 →体験授業を受ける、メモをとるのに筆記用具が必要です。話を聞くだけで終わり、家に帰ったらほとんど覚えていない…ではせっかくの機会を台無しにしてしまいます。
- ④上履き →教室や廊下は土足禁止の学校もあります。スリッパを借りることになった場合、あまり印象はよくありません。「見学時に上履きは不要」と事前に分かっている場合を除いて、持っていくましょう。
- ⑤クリアファイル →多くの場合、資料やプリントが配られます。そのままかばんに入れると紙が折れ曲ったり、しわくちゃになったりします。2~3枚用意しておきましょう。
- ⑥交通費やお金 →学校見学の際は、電車やバスなどの公共交通機関を利用するのが原則です。往復にかかる交通費を事前に調べておきましょう。
- ⑦飲み物 →いつもとは違う環境で、想像以上に緊張します。緊張により喉が渴いた場合に備えて、水分補給ができるように準備をしておきましょう。
- ⑧ハンカチ、ティッシュ →エチケットとして必ず持って行きましょう。
- ⑨服装 →制服での参加です。シャツは袖がだらしないように着用する。派手な髪型やアクセサリーは禁物です。



マナー

①ケガや病気で欠席する場合は必ず連絡する

→事前予約制の場合は、欠席が決まった時点で必ず連絡をしましょう。学校側は、見学の際にパンフレットや記念品を渡すために、申し込みがあった人の名簿を作っていることがあります。無断で欠席すると、「途中で事故に遭ったのでは？」と心配をかけることにもなります。

②私語を控える

→体験授業を行っている教室の周りで、他の授業を受けている在校生や受験生もいます。在校生に迷惑をかけないようにしましょう。

③展示品や掲示物には触れない

→工業系のような学校では、在校生の作品を見学することができます。ただし、「手にとってご覧ください」といった許可がない限り、触れてはいけません。その他の掲示物等についても同様です。破損・汚損すると弁償するだけでは済まされなくなります。

④公共交通機関を利用する

→車での来校を禁止している学校が多いことに加えて、事故に遭うおそれがあります。どうしても車やタクシーで行く場合は、学校の近くの安全なところで降りてから、歩いて学校に向かうようにしましょう。

④ 当日の見学で確認すべきポイント



●教室の様子や雰囲気

まずは、教室が清潔な状態が保たれているかどうか、きちんと整理整頓されているかどうかを確認してみましょう。在校生が授業を受けている様子を見ることで、自分が教室で授業を受けているイメージが湧くでしょう。教室の環境は、これから自分が学校で勉強していくうえで重要です。自分が学びやすい雰囲気が保たれているかどうかは大切なチェックポイントです。



●部活動の様子

どのような部活動があるのか、見学で確認しておきましょう。部活動を決める際は、自分の考えと活動のスタンスが合うのかも重要です。「楽しく活動できれば良い」「成果を出すことにこだわっている」など、部活動によって方針が異なるため、どのような方向性で部活動に取り組んでいるのか質問をしてみましょう。



●通学のしやすさ

通学時間や通学のしやすさは継続して毎日学校に通う上で重要なポイントです。通学時間が長いと、その他のことに当てる時間が短くなります。また、中学校のように歩いて通うだけでなく、電車やバス、自転車、徒歩など通学方法もまちまちです。通学することに疲れてしまわないように、通学のしやすさを確認しておくべきです。



●学校の施設や設備

校舎や教室が汚れていると、それだけで通うモチベーションが下がってしまう可能性があります。また、図書館やグラウンド、トイレなどの施設・設備が整っているかどうか確認しましょう。施設や設備が整っていれば、自然と学校生活の満足度も向上するでしょう。

まとめ

今回は知らないと後悔！事前に知っておくべき学校見学の準備について解説しました。

ポイント

- ① 学校説明会の種類に応じて何をするのが変わる。
- ② 日程や事前の申し込みの有無(「個人」か「中学校を通して」か「不要」)をチェックする。
- ③ 実施内容や必要な持ち物をチェックする。
- ④ 当日に確認したいことや質問したいことを事前にリストアップする。

上記の内容を事前に確認すると、**学校見学をより充実したものにでき、自分が行きたいと思える学校を見つけることができます。**



具体的に何を意識すれば良いかわかったから、有意義な学校見学ができそうだよ！

”自分で進路を考える”ってこういう部分もやねんで～
まあ、事前の持ち物準備と当日に絶対に見ておきたいことから意識してみよ～



最後に、世界的に有名な元プロ野球選手のイチロー選手の名言で締めくくりたいと思います。

努力せずに何かできるようになる人のことを「天才」というのなら、

僕はそうじゃない。

努力した結果、何かができるようになる人のことを「天才」というのなら、

僕はそうだと思う。

人が僕のことを、努力もせずに打てるんだと思うなら、それは間違いです。